

2025.5

Vol.94



群馬県高山村議会

Vill-Takayama Council NEWS

TsuNaGu

議 会 広 報 つ な ぐ

希望
新たに

取材日記
16分

Focus_01

令和7年度予算
すべて可決!

Focus_02

第1回 定例会
質疑・PICKUP!

Focus_03

村長にきいてんべえ!
5人が一般質問

特集

令和7年度予算

山が「もっと」きれいになります



「ぐんま緑の県民基金」を活用し、間伐などを行います



農業の担い手 生産性の向上に向けて

原地区大型基盤整備工事が
始まります

高山揚水場 廃止に向けて



懸案である
立坑廃止へ
一步前進します

若年層の 移住定住対策



五領地区で
12戸の団地
づくりが
始まります

一般会計

歳入 歳出 **34億2,799万4,000円**

特集


定例会

一般質問

委員会

議会の動き

お知らせ



物価高騰対策として村民への支援

「地域振興券」今年はひとり6,000円

带状疱疹予防接種も補助対象に



中高年（50歳以上）の罹患リスクを軽減します

より充実した教育環境整備へ

※G I G A
スクール用の端末を最新のものに更新します



※Global and Innovation Gateway for All の略
「すべての子どもたちのためのグローバルで革新的な扉を」という意味です

グローバル化への対応

住民課窓口で翻訳システムを（134カ国語対応）導入します



翻訳する, 訳す

子育て世代応援給付金制度の充実

令和7年度（2025年度）から子どもの成長に合わせた制度に移行します



令和7年4月1日までに出生した子どもさんは今までの制度が継続します

令和7年 第1回 定例会



令和7年第1回定例会は3月5日から18日までの14日間の日程で開催されました。提出された議案は全て「可決」されました。

3月5日（水）

午前10時開会
条例の一部改正や補正予算など32議案が上程、補正予算の専決処分が承認され残りの31議案は、議案調査とし、最終日の採決で議決となります。
本会議散会后、全議員で議案調査を実施。

【用語解説】議案調査（ぎあんちようさ）とは
議案調査とは、議会が首長や議員から提出された議案を審査・調査することを指します。

補正予算（専決処分）

可決

承認第5号	◇専決処分の承認を求めること（一般会計補正予算（第4号）） 補正額 1,601万9,000円 予算総額 35億5,075万9,000円
-------	--

3月6日（木）

午前10時開会
一般質問が行われ5名が登壇しました。
本会議散会后、全議員で議案調査を実施

3月7日（金）

午前9時から全議員で議案調査を実施

3月10日（月）

午前9時から全議員で個別に議案調査を実施
午後1時45分から、議会広報編集特別委員会を開催

3月11日（火） ～17日（月）

個別に議案調査を実施

3月18日（火）

午前10時開会
追加の2議案と議案調査となっていた31議案、計33議案が議決されました。

人 事

同意

同意第1号	◇監査委員の選任 3月31日をもって関令二郎氏が任期満了となるため、後任に野上一夫氏を選任したいというもので、適任者と認め同意しました。 任期は令和7年4月1日から令和11年3月31日までの4年間となります。
-------	--

条 例 **可決**

発委第 1 号	◇議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正
議案第 1 号	◇情報公開条例の一部改正
議案第 2 号	◇個人情報保護法施行条例の一部改正
議案第 3 号	◇個人情報保護審査会条例の一部改正
議案第 4 号	◇職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
議案第 5 号	◇職員の給与に関する条例の一部改正
議案第 6 号	◇職員の育児休業等に関する条例の一部改正
議案第 7 号	◇職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正
議案第 8 号	◇会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
議案第 9 号	◇地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正
議案第 10 号	◇在宅支援事業費用徴収条例の一部改正
議案第 11 号	◇地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案第 12 号	◇小口資金融資促進条例の一部改正
議案第 13 号	◇土砂等による埋立て等の規制に関する条例の一部改正
議案第 14 号	◇消防団条例の一部改正

契 約 **可決**

議案第 31 号	小学校通学バス購入の変更契約
----------	----------------

補正予算 **可決**

議案第 15 号	◇令和 6 年度 一般会計補正予算 (第 7 号) 補正額 ^{マイナス} 2 億 5,669 万 8,000 円 予算総額 32 億 9,406 万 1,000 円
議案第 16 号	◇令和 6 年度 国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号) 補正額 - 1,960 万 9,000 円 予算総額 4 億 8,962 万円
議案第 17 号	◇令和 6 年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) 補正額 - 235 万 2,000 円 予算総額 6,356 万 2,000 円
議案第 18 号	◇令和 6 年度 介護保険特別会計補正予算 (第 3 号) 補正額 - 5,414 万 9,000 円 予算総額 4 億 8,621 万 2,000 円
議案第 19 号	◇令和 6 年度 土地開発事業特別会計補正予算 (第 2 号) 補正額 - 3,767 万円 予算総額 1,586 万 6,000 円
議案第 20 号	◇令和 6 年度 農業用水事業特別会計補正予算 (第 3 号) 補正額 - 79 万 4,000 円 予算総額 4,127 万 1,000 円
議案第 21 号	◇令和 6 年度 簡易水道事業会計補正予算 (第 3 号) 使用料、電気料、各種委託料、村債、各種工事費などの減額
議案第 22 号	◇令和 6 年度 水をきれいにする事業会計補正予算 (第 2 号) 使用料、消費税還付金、修繕料、電気料、受益者分担金各種工事費などの減額

議案第 23 号	◇令和 7 年度 一般会計予算 予算総額 34 億 2,799 万 4,000 円、前年当初比 + 1 億 8,058 万 6,000 円 (+ 5.6%) 【→本会議質疑で詳しく 6 頁】
議案第 24 号	◇令和 7 年度 国民健康保険特別会計予算 予算総額 4 億 9,471 万 1,000 円、前年当初比 - 852 万 3,000 円 (- 1.7%)
議案第 25 号	◇令和 7 年度 後期高齢者医療特別会計予算 予算総額 6,536 万 2,000 円、前年当初比 + 63 万 3,000 円 (+ 0.9%)
議案第 26 号	◇令和 7 年度 介護保険特別会計予算 予算総額 4 億 9,897 万 7,000 円、前年当初比 - 354 万 9,000 円 (- 0.7%)
議案第 27 号	◇令和 7 年度 土地開発事業特別会計予算 予算総額 9,200 万 9,000 円、前年当初比 + 3,919 万 9,000 円 (+ 74.2%)
議案第 28 号	◇令和 7 年度 農業用水事業特別会計予算 予算総額 1 億 251 万 2,000 円、前年当初比 + 6,627 万 4,000 円 (+ 182.9%)
議案第 29 号	◇令和 7 年度 簡易水道事業会計予算 収益的・資本的支出計 1 億 1,125 万 5,000 円 前年当初比 - 391 万 2,000 円 (- 3.4%) 【→本会議質疑で詳しく 8 頁】
議案第 30 号	◇令和 7 年度 水をきれいにする事業会計予算 収益的・資本的支出計 2 億 4,327 万 3,000 円 前年当初比 + 1,844 万 7,000 円 (+ 8.2%)

本会議
質疑



◆令和 7 年度 一般会計予算

このほかにも多くの質疑がありました。詳しくは会議録をご覧ください。

ナラ枯れの対策方法は？

唐澤徳治 みどりの村のナラ枯れ対策実施にあたり、古くなったバンガローの撤去や場所の入れ替えなど、キャンプ場の機能を維持しながら上手に伐採できないか。

地域振興課長 施設の改修を含め配置等を考えながら、エリアごとの伐採のほうが費用がかからないので、現場と話をしながら進めたい。

唐澤徳治 ナラの木の伐期は 25 年、効率的な伐採とその後の植栽は。

地域振興課長 25 年後は職員も代替わりしているので、いい方法を考えて引継ぎをしたい。

唐澤徳治 ナラ枯れの原因となる虫の捕獲について、静岡県森林・林業研究センターで提案しているクリアファイルを使ったトラップでの捕獲を試す価値はあると思うが、どのように考えるか。

地域振興課長 時期を見計らって試験的にやってみたい。

令和 7 年度の地域振興券は？

後藤明宏 高山村地域振興券交付事業（住民配布型）の使用率は。

地域振興課長 令和 5 年度 95.6%、令和 6 年度 94.8%であった。

後藤明宏 令和 7 年度村民一人当たり 6,000 円とした根拠は。

地域振興課長 財源として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,065 万円の予算が見込めたため、物価高騰対策と村内事業者支援として、令和 7 年度に限り一律 6,000 円とした。



© 静岡県森林・林業研究センター ナラ枯れ対策・虫捕獲動画

「ぐんま緑の県民基金」の活用は？

飯塚武久 ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の今までの実績は。

農林課長 平成26年度から令和6年度までの11年間で、下刈り管理702.47ヘクタール、森林間伐^{かんばつ}87.04ヘクタール、森林皆伐^{かいばつ}61.7ヘクタール、竹林皆伐^{かんばつ}37.97ヘクタールで、総事業費4億8,854万3,560円、補助金総額が4億5,638万2,000円、率にして93.4%が補助金として事業費に充てられている。

飯塚武久 今後の推進方針は。

農林課長 役場の広報誌や役場窓口にチラシを置くとともに、区長会議の際に紹介し、村民へ周知をしていきたい。

ただし、要綱や運用基準など定められているので、事業採択に該当する事業箇所なのかを、県と相談をしながら確認して事業を推進していきたい。

佐藤晴夫 委託費7,448万3,000円、補助金3,833万円の説明を。

農林課長 委託費は、山林内の立木の皆伐^{かいばつ}38.94ヘクタール、間伐^{かんばつ}1.55ヘクタール、竹林全伐^{ぜんばつ}0.31ヘクタールを計画している。

令和7年度より採択基準が大幅に変わり、作業箇所の統一化など、区域をまとめたため施行面積が増え、事業量が増となった。

補助金は、刈り払い作業管理事業として村内23の管理工区で森林面積97.23ヘクタール、竹林面積15.69ヘクタールを計画している。

苗木の購入では^{かんばつ}間伐した14工区分、また、獣害被害箇所へ散布する薬剤の購入を計画している。

なお、管理工区は、森林所有者に代わって10年間森林を適正に整備を行う管理団体・NPO・ボランティア団体と規定されているが、本村では任意団体をつくり、その団体に対して補助し、管理事業を行っている。

橋りょう長寿命化事業費

後藤明宏 橋りょう長寿命化事業の事業費が減った理由は。

建設課長 橋りょう長寿命化事業は危険度が増すと補助率が上がる制度になっているため、危険度の高い橋（判定Ⅲ以上）から実施することで、補助金を有利に使いたい。

令和7年度は、判形地区の1橋を予定している。

後藤明宏 危険な橋の工事は終了するので、今後の経過を見ながら進めていくということか。

建設課長 現在、村道にある96橋を5つのエリアに分け毎年1エリアずつ点検している。その結果を受けて、今後、危険度の高い橋から順次対応していく。

新しい村誌、いつ完成？

平形富二夫 村誌編さん事業の進捗状況は。

総務課長 令和7年度中に全戸配布ができるよう努力する。

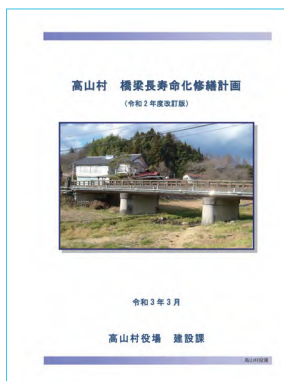


昭和47年発行の高山村誌

不要になる端末の活用方法は？

渡邊裕治 児童・生徒用のGIGAスクール対応の端末170台の更新により、現在使用している端末が使われなくなるが、その後の活用は。

教育課長 5年経過し、バッテリーの不具合も出てきているが、使えるものは役場やこども園、保育所の職員で有効活用する。



建設課ホームページ「橋りょう長寿命化修繕計画」資料

本会議
質疑



◆令和7年度 簡易水道事業会計予算

今後の経営戦略は？

渡邊裕治 簡易水道事業の給水収益が200万円以上減り、一般会計からの補助金が350万円ほど増えている。

公営企業会計は独立採算の原則から赤字会計であれば、水道料金・基本料金の見直し・値上げ等を検討していく必要があると思うが。

また、簡易水道事業と水をきれいにする事業で、経営戦略見直し業務委託費があるが、今後の経営戦略をどのように改定していくのか。



建設課長 給水収益の減額は人口減少や節水意識の高まりなどが考えられ、補助金の増額は給水収益の減収に加え、施設や設備の老朽化による修繕費や水質検査項目の追加などにより事業費用が増加したことが要因となる。

今後の水道料金の見直しは、経営戦略と関係する部分もあり、現在の経営戦略を令和7年度に見直すことになっている。

その中で、人口減少や施設の老朽化等を踏まえ、また、今後の経済状況も加味して経営改革、料金改定、広域化、民間活用など検討していくことになる。

なお、この見直しは総務省が実施している経営・財務マネジメント強化事業を活用して、アドバイザーの派遣による人的支援を受け、実効性のあるよりよい計画を策定したいと考えている。

本会議での議案採決結果について

全会一致で可決したものについて、議員それぞれの賛否結果は掲載を省略します。賛否が分かれたもの（欠席者がいた場合は、その表記）についてのみ、各議員の賛否結果をお知らせしていきます。なお、人事議案については「無記名投票」のため、可否のみの掲載となります。

PICK UP

「議会費」って
どのくらい？

令和7年度 当初予算は

5,425万4,000円

(一般会計予算の1.6%)です

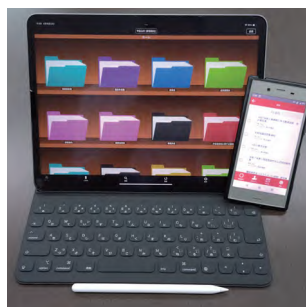
議会（本会議・委員会）活動のほかに



JIAMでの研修・町村議会議長会などの議員研修



議会広報発行年4回を予定



議会DX活用クラウド本棚・連絡網など



議長杯スポーツ大会
ゲートボール
グラウンドゴルフ

などの予算を組んでいます

村長にきいてんべえ！



一般質問

定例会において議員が行政全般にわたり村長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めることをいいます。
なお、効率的かつ充実した議会運営を行うため、通告することになっています。

- | | | |
|----|---------------------|----------|
| 01 | 役場庁舎・ふれあいプラザ整備について！ | 後藤 明宏 議員 |
| 02 | さとのわ建設の大幅増額理由は | 後藤 肇 議員 |
| 03 | 人口減少を見据えた住宅政策は | 飯塚 武久 議員 |
| 04 | 日本ロマンチック街道の活用策について | 松井 陽威 議員 |
| 05 | 高山村デイサービス、今後の運営は | 平形富二夫 議員 |

一般質問の質問・答弁全文は、議会ホームページの会議録からご覧いただけます。



後藤 明宏 議員

01 役場庁舎・ふれあいプラザ整備について！

【村長】無駄のないよう必要最小限の機能にする

〈議員〉 役場庁舎・ふれあいプラザの整備に関する住民説明会が行われ、意見と要望を伺い、村民の思いをどう受けとめて、どのように進めていくのか。人口減少が高山村でも進む中、小中一貫校・義務教育学校に移行していく必要があり、移行は、いつ頃になるのか。総合的に検討を進めてもらいたい。

〈村長〉 一体的に整備をと考えていた役場庁舎・ふれあいプラザの両施設を個別に検討して、検討委員会を軸に、議会との協議を経て、アンケート調査などの手法も検討する。

いずれも、村民だれもが利用しやすく、無駄のないよう必要最小限の機能とすることを、念頭に置き進める。

〈教育長〉 義務教育学校は、小学校から中学校までの義務教育を一つの学校で一貫して行う学校である。県内では4校、4月に川場村が開校し、沼田市も予定しており、高山村教育委員会でも検討を進め、皆様へ説明し意見を聞くなど最低3年間の準備期間が必要である。

実施時期については、実施するかどうかを含め、村長をはじめとした関係者と検討していくことになる。





02

さとのわ建設の大幅増額理由は

【村長】前もって説明していた

〈議員〉 今まで車座対話がなかったため、庁舎・プラザ整備説明会でも村民との間には、まだまだ大きな溝を感じる。その原因は、今まで箱物を造ったときの説明不足である。道の駅人道橋、さとのわ建設費2倍であること。

説明会の答弁の中で詳細説明する機会を持つという話があったが、いつ持つのか？

〈村長〉 道の駅人道橋に対する説明については、今から8年前に遡るが、平成29年3月の定例会において会期を延長する中で説明し、紆余曲折あったがご理解を頂いたと考えている。内容については会議録に残されているとおりである。

交流館（さとのわ）の建設事業の実施に当っては、交流館本体工事と関連工事の分割契約により実施したことで、大変紛らわしく、村民皆様に大変ご迷惑

をおかけしたことは誠に申し訳なく、深く反省している。

〈議員〉 議会へは説明をして理解してもらったと言うが、その旨の詳細説明が公の場でなされていなかった気がする。



03

人口減少を見据えた住宅政策は

【村長】若者や移住希望者の意見を反映

〈議員〉 人口減少社会が到来する中で、本村においても空き家の増加、村営住宅の老朽化、また移住希望者の住宅確保等が課題となっている。このことから今後人口減少を見据えた住宅政策の方向性を検討していく必要があると思うが、どうか。

また、外から訪れる人たちが高山村にゆっくりと滞在して頂くためには、宿泊施設を充実していく必要があると思うが、どうか。

〈村長〉 現在、住宅政策として村営住宅事業や宅地造成事業など多くの事業を実施するとともに、住宅取得補助などの制度も設けており、ある程度人口減少対策としての効果を発揮していると考えている。

今後は移住希望者や若い世代からの意見を聞くなどして、魅力のある住宅政策を実施し、移住定住にも努めていきたい。

また、宿泊施設については、村民や村外から訪れる方々から施設の建設要望の声が多く寄せられているので、現在来村者向けの施設の整備を考えており、施設の運営を含め民間資本による宿泊施設の設置を目指していきたい。



04

日本ロマンチック街道の活用策について



松井 陽威 議員

【村長】 関係団体と協力し新しい取組を模索

〈議員〉 日本ロマンチック街道の「観光利用」「沿線各自治体との連携」について、現在の取組と今後の構想は。

〈村長〉 沿線 15 市町村協力の下、令和 5 年度から「ドライブスタンプラリー」を開催している。今後は、さらに日本ロマンチック街道協会及び関係団体と協力しながら新しい取組を模索していきたい。



〈議員〉 本村には「ロックハート城」「県立ぐんま天文台」等の施設や山村の原風景があり、他にも観光資源が埋もれていると思うので、皆で知恵を絞って高山村発の観光モデルを創っては。

また、自治体連携として、街道を活用してはいかがか。

その際には、街道のほぼ中央に位置する本村が呼びかけ、各自治体が抱える共通の諸問題について定期的に話し合い、連携を深める場とする。

さらに、民間とのタイアップを強化し、使用可能なツールを最大限に活用し、発信力と牽引力で勝負してもらいたい。

05

高山村デイサービス、今後の運営は



平形 富二夫 議員

【村長】 年間 1,200 万円の不足分は村が負担

〈議員〉 以前「試算をどのように行ったのか？」という問いに対して「地域密着型だと人数が高山村のユーザーに絞られるので、その中で運営が十分にできるのではないかを計算して、運営をしていきたい。」との答弁から約半年間経つが、その後の運営状況は。

〈村長〉 社会福祉協議会で不足する運営経費は、村が補助金として支出しており、年間1,200万円の不足分は、最終的には村が負担することになる。

〈議員〉 医療法人パテラ会の通所介護と高山村社会福祉協議会の地域密着型介護の仕組みの違いと、介護保険の割合は。

〈村長〉 地域密着型通所介護のほうが、通所介護に比べ、より利用者のニーズに沿った支援が受けられることとなるため14%ほど高めの設定となっている。



議員研修

議会議員の資質向上のため、
各種の研修へ参加しています。

市町村長等・議会議員特別セミナー



1月20～21日まで、滋賀県の全国市町村国際文化研修所（JIAM）において行われた「第3回市町村長等・議会議員特別セミナー」に議員5名が参加しました。

本研修会では、福祉をテーマに、各分野でご活躍の先生方からご講演をいただき、改めて地域を見つめ直すとともに、わがむらの未来や地方行政に求められる役割について多角的に考えることができました。

参加した各議員の感想



安心して認知症になれる社会を目指して、芸術分野、人と人、人と自然をつなぎ人の思いが重なり社会は変わる。大切なことを学びました。（後藤明宏議員）



今回の研修で東京藝術大学がアートと福祉を絡めて地域と取り組んで活力ある社会形成にとって芸術の重要性への理解を深め社会に貢献できる。アートにもいろいろな役割があるのだと思いました。（佐藤晴夫議員）



セミナーを受け、社会生活で今起きている問題の中に飛び込み当事者と一緒に考えることで輪が広げられることに気づきました。（後藤肇議員）



私の好奇心で滋賀県に一人で研修会に参加し、その後、全員の皆さんも研修していただき、議会も一歩前進したと思います。（平形富二夫議員）



『福祉』というテーマのもと、アートと福祉、共生社会の実現、障害者の就労支援、資金循環の仕組みについて受講。「本人中心の支援」を再認識した。（山口英司議員）



町村議会広報クリニック

2月13日、東京の全国町村議員会館において行われた、全国町村議会議長会主催の「令和6年度町村議会広報クリニック」を受講しました。

文章コンサルティングファーム未来交創代表取締役 前田 安正 氏による講義と紙面診断（広報クリニック）が行われました。

各町村議会が発行している広報紙の優れている点を評価・確認するとともに、住民により読まれ、伝わる議会広報紙とするための検討課題や改善策を提案していただきました。



特集

定例会

一般質問

委員会

議会の動き

お知らせ



参加した各委員の感想



私たちの「TsuNaGu」をより良いものに発展させ、近い将来、全国のクリニックを受けてみたいという気持ちが強まった。
(松井陽威委員長)



AIに文書は作れても、文章は作れない。まだ人間は機械より優っている。心で感じたものを分かりやすく伝えたい。
(平形玉緒副委員長)



これまでの研修会は、主にレイアウトや色遣いなど視覚の観点で構成されていたが、今回は文書そのものの作り方から見せ方までプロの目による指導を頂き、非常に勉強になった。(飯塚武久委員)



ある決められた情報を入れるだけで、あっという間に作り出されてしまう1200文字。今回もまた新しい発見です。
(唐澤徳治委員)



講師によって視点が異なり、新たな発見もできた。時代に合わせ、読み手の負担を減らすことを意識した構成を心がけたい。
(渡邊裕治委員)



ハラスメント研修



3月21日、役場職員向けに行われた「安心して働ける職場環境をつくる『ハラスメント研修』」に全議員・事務局で参加しました。株式会社行政マネジメント研究所 久保田 千紘 氏による講義とグループワークを行いました。

ハラスメントの理解と対策について改めて確認するとともに、全議員が正しい理解を深め、ハラスメント防止に取り組んでまいります。

議会傍聴が「より身近」に

令和7年4月より「受付票」の記入がなくなりました。本会議当日、役場2階の議場前受付にある資料をお持ちいただき、傍聴席にお入りください。
多くの皆様の傍聴をお待ち申し上げます。



議会事務局長が変わりました



事務引き継ぎの様子

前事務局長が3月31日付けで異動となりました。
4月1日より新任の事務局長が着任いたしました。

小池 正浩 前事務局長（農林課へ）

時代の変化に対応できる議会を目標とし、局長として議会運営に関わられた大変貴重な3年間でした。

武田 昌明 新事務局長（総務課から）

4月より事務局長として議会運営に携われること、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。

ご意見・ご要望などはこちらから

今回発行の94号についての感想や、今後、議会広報の特集で取り上げてほしい内容などございましたら二次元コードを読み込んで「専用入力フォーム」よりお送りください。このほか、FAX・Eメールなどでもお待ちしております。

今号についての意見募集は、令和7年5月31日（二次元コード有効期限）までとなります。



- 1月6日 仕事始めの式
- 8日 群馬県議会新春交流会（前橋市）
- 〃 上毛新聞社新年交歓会（前橋市）
- 〃 吾妻郡賀詞交換会（中之条町）
- 9日 議会広報編集特別委員会
- 〃 高山村表彰式及び新年交歓会
- 12日 高山村消防団出初式
- 〃 二十歳のつどい
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 20～
- 21日 第3回市町村長等・議会議員特別セミナー（滋賀県）
- 22日 議会広報編集特別委員会
- 〃 全員協議会
- 〃 高山村人権教育推進員会議
- 23日 吾妻警察署初点検（東吾妻町）
- 30日 議会広報編集特別委員会



高山村表彰式・新年交歓会で挨拶をする山口議長

特集

定例会

一般質問

委員会

議会の動き

お知らせ



生涯学習大会
こども園・5歳児の発表



地域おこし協力隊等活動報告会

- 2月5日 議会広報編集特別委員会
- 10日 予算大綱説明会
- 12日 議会広報編集特別委員会
- 13日 高山村社会福祉協議会役職員研修会（前橋市・藤岡市）
全国町村議会広報クリニック（東京都）
- 14日 群馬県町村議会議長会定期総会（前橋市）
- 15日 生涯学習推進大会
- 18日 高山村土地開発事業審議会
- 19日 議会広報編集特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 〃 地域おこし協力隊等活動報告会
- 27日 議会広報編集特別委員会
- 〃 吾妻広域町村圏振興整備組合議会（中之条町）
- 〃 吾妻環境施設組合議会（中之条町）
- 〃 吾妻東部衛生施設組合議会（中之条町）
- 28日 全員協議会

- 3月5日 第1回定例会 本会議①
- 〃 提出議案調査
- 6日 第1回定例会 本会議②
- 〃 提出議案調査
- 7日 提出議案調査
- 10日 提出議案調査
- 〃 議会広報編集特別委員会
- 12日 農業再生協議会総会
- 13日 中学校卒業式
- 18日 第1回定例会 本会議③
- 〃 議会広報編集特別委員会
- 21日 こども園修了式
- 〃 ハラスメント研修会
- 〃 高山村猟友会会議
- 24日 小学校卒業式
- 〃 高山村土地開発事業審議会
- 27日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会（中之条町）
- 28日 議会広報編集特別委員会



中学校卒業式



小学校卒業式

定例会のお知らせ

令和7年第2回定例会 (本会議の予定)

初 日 6月4日(水) 午前10時～
一般質問 // 午後1時30分～
最終日 6月10日(火) 午前10時～

◇議会を傍聴してみませんか◇

傍聴席の出入りは自由で、本会議中でも入室ができます。(定員18名/先着順)

最新情報は、議会ホームページにてお知らせしています。スマートフォン等からは表紙の二次元コードからどうぞ。



広報委員の取材日記

4月1日、新入職員の宣誓式を取材させていただきました。

今年度、高山村に入職した新入職員は6名。新たな環境で一步を踏み出しました。

辞令交付式の後の「宣誓式」で、それぞれの職員が「日本国憲法を尊重し、公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います」と宣誓しました。

緊張した面持ちでしたが、その後、議会広報の表紙となる写真撮影では笑顔も見えました。

職員はそれぞれの配属先で業務を学びながら、順次、研修を受けるなどしています。

編集後記

議員になって早2年、気が付けば任期の折り返し、3年目に突入しました。本会議場の独特かつ神聖でピリっとした緊張感。議員にならなければ、わからなかったことでした。

議員活動では、まだまだ新しい経験の連続です。何年経過しようとも皆さんの意見に耳を傾け、初心忘れることなく頑張ります。

議会広報TsuNaGuも、より読みやすく、親しみやすく「進化中」です。アイデアをこれまで以上に出していきたいと思います。(平形 玉緒)



Vill-Takayama Council NEWS TsuNaGu

議会広報つなぐ vol.94

2025(令和7)年5月1日 発行 通算94号

発行:群馬県高山村議会 編集:議会広報編集特別委員会 発行責任者:議長 山口 英司

〒377-0792 群馬県吾妻郡高山村大字中山2856-1 Tel 0279-63-2111(代) FAX0279-63-2768

[群馬県高山村議会]で[検索] E-mail info@vill.takayama.gunma.jp